

祈りの条件②

熊本聖書フォーラム
2021年4月25日

出典：MBS148 "The Conditions of Prayer" Arnold G. Fruchtenbaum, TH.M., PH.D.

イントロダクション P.1

祈りが神に聞かれるためには、一定の条件を満たすこと
福音書でイエスは、少なくとも3つの条件を挙げた
信仰をもって祈ること、イエスのうちにとどまっていること
イエスの名において祈ること

祈りの条件の学びは、大きく二つのテーマ

1. **祈り手に関する条件**
2. **祈り方に関する条件**・父なる神に、御子を通して、聖霊によって

祈り手に関する条件

- A) 祈り手個人が満たすべき前提条件 1 3
- B) **罪を言い表すこと**
 - C) **目を覚ましていること**
 - D) **信仰をもって祈ること**
 - E) 神のみこころとの一致

祈り手個人が満たすべき前提条件 1 3

1. 誠実に祈ること
2. 畏怖の念をもって祈ること
3. 謙遜であること
4. 粘り強いこと
5. 神のみこころを受け容れること
6. 神の命令に従うこと
7. 熱心に祈ること

祈り手個人が満たすべき前提条件 1 3

8. メシアの中にとどまること
9. 赦す心でいること
10. 悔い改めていること
11. 敬虔であること
12. 大胆であること
13. 力強く祈ること

B) 罪を言い表すこと

アウトライン

1. 罪との関係でまっさらな状態に
2. 罪を言い表すタイミング
3. 適用すべき神のこぼば Iヨハネ1:9

B-1) 罪との関係でまっさらな状態に P.2

•詩66：17～19

もしも不義を私が心のうちに見出すなら、
主は聞き入れてくださらない

B-1) 罪との関係でまっさらな状態に P.3

•箴言28：9

耳を背けて教えを聞かない者は、
その祈りさえ忌み嫌われる

•イザヤ59：1～2

あなたがたの咎が神との仕切りとなり、
あなたがたの罪が御顔を隠させ、
聞いてくださらないようにした

B-2) 罪を言い表すタイミング P.3

•気づいたら即座に

•それを逸した場合は

- ① エペソ4：26 日没までに=その日のうちに
- ② I コリ11：23～33 聖餐式にあずかる前に

B-3) I ヨハネ1：9 P.3

もし私たちが自分の罪を告白するなら、
神は真実で正しい方ですから、
その罪を赦し、
私たちをすべての不義からきよめてくださいます

B-3) I ヨハネ1：9 P.3

もし私たちが自分の罪を告白するなら

- 気づいている罪を告白する=言い表す
- 神が罪であるとするを、たしかにそうです、私はそれをしました、と認めること
- 弁解は無用、二度としませんという誓いも不要
- 自分がしたことは罪であったことを神の前に認めて、言い表すこと、これが罪の告白の祈り

B-3) I ヨハネ1：9 P.3

神はその罪を赦し**私たちをすべての不義からきよめてくださいます**

- 気づいている罪を言い表すと、気づいていない罪をも含めて、すべての不義からきよめられる
- よって、信者はこのとき、罪に関してまっさらな状態、罪なき状態にされる

B-3) I ヨハネ 1 : 9

P.3

そんな都合のいいことがあるのか？

神は真実で正しい方ですから

- すべての不義からきよめるといのは、神のことば、神の約束である
- 神は真実な方＝神はご自分のことばをその通りに実行する方、約束したことに忠実な方である

C-1) 目を覚ましていること

P.4

**思考を働かせてよく見張っていること
精神を集中して警戒していること**

- マタイ 26 : 41

**目を覚まして祈っていなさい
誘惑に陥らないように**

C) 目を覚ましていること

P.4

- マルコ 14 : 37～39

- ① 前の34節で「**目を覚ましていなさい**」と命じた
 - ② 38節 できなかった弟子たちに「**目を覚まして祈っていなさい**」
 - ③ 39節 ご自身は「再び離れて行き、**祈られた**」
- **目を覚ましていることと祈ることは連動している**

D) 信仰をもって祈ること

P.5

アウトライン

1. 信じること
2. 何を信じて祈るのか 信仰の内容 3つ
3. 信仰は神の約束の上にとつこと
4. 祈る前から信じていること

D-1) 信じること

P.5

- マタイ 21 : 21～22

あなたがたが信じて疑わないなら
信じて祈り求める人は何でも受ける

- エペソ 3 : 12

確信をもって大胆に神に近づく

- ヤコブ 1 : 6～8

少しも疑わずに、信じて求めなさい

D-2) 何を信じて祈るのか

P.5

祈りに必要な信仰の内容は 3つ

- ① 神は存在する
- ② 神は祈りを聞いてくださる
- ③ 神は祈りに答えたいと願っておられる

D-2) 神は存在する P.5

ヘブル11：6

信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、**神がおられること**と、神がご自分を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならないのです。

D-2) 神は祈りを聞いてくださる P.5

詩6：9

主は私の切なる願いを**聞き**、
主は私の祈りを**受け入れられる**

D-2) 神は答えたいと願っておられる

•マタイ7：9～11

天におられるあなたがたの父は、
ご自分に求める者たちに、
良いものを与えてくださる

•ヤコブ1：5～6

だれにでも惜しみなく与えてくださる神

D-3) 信仰は神の約束の上に P.6

ピリピ4：19

また、私の**神は**
キリスト・イエスの栄光のうちにある
ご自分の豊かさにしたがって
あなたがたの必要をすべて
満たして下さいます

D-3) 信仰は神の約束の上に P.6

- **父なる神**が、私たち信者の必要を満たし、養うと約束してくださっている。
- その約束を実行してくださるのは、良き羊飼いである**主イエス・キリスト**である。
- 神の約束があるから、私たちは祈り求める。

D-4) 祈る前に信じていること P.6

マタイ17：19～20

あなたがたの信仰が薄いからです
しかし、大きな信仰を持つようには言われぬ
からし種ほどの信仰があるなら
私たちの信仰は小さくとも、私たちが信じる神には
「できる」と信じる。これが、からし種ほどの信仰
小さくとも中にいのちがある

D-4) 祈る前に信じていること P.6

•からし種ほどの信仰の実例

ヤコブ1:6「**少しも疑わずに**、信じて求めなさい」

•信仰を伴った祈りを要すると言われた実例

マルコ9:29「この種のもは、**祈り**によらなければ、何によっても追い出すことはできません」

D-4) 祈る前に信じていること P.7

信仰に欠ける祈りでは、祈っても答えられない

そのような祈りは、むなしい祈り

祈りの時間は、時間の浪費

D-4) 祈る前に信じていること P.7

マタイ21:18~22

- ① 自分が祈り求めたことは、すぐにそうなる
- ② 信じて祈り求めるものは、すでに受けている
- ③ この二つのことを信じ続ける
- ④ 神の答えは、自分が祈ったような仕方ではないこともあるが、神は必ず答えてくださる

D-4) 祈る前に信じていること P.7

結論 信仰が先か、祈りが先か

マルコ11:22~24

- ① 22節で「神を信じなさい」、次に23~24節で祈り求めること。神を信じるのが先。
- ② 神を信じるのが最初に来て、次に、「何でも祈り求める」となる。